

## 高校2年生

- ・現代社会（担当 大和田）

### 課題

今世の中で何が起きているか？これから公民権を得ていくみなさんに、とにかくニュースを見てほしい  
と思います。ニュースを見て関心を持った記事を挙げて、それについての意見をA4サイズのレポート  
に400字程度でまとめてください。

(記事の数や、レポートの枚数は特に問いません。)

※ 1回目と同じ課題です。3本目のレポートをまとめてください。

高2の皆さん、こんにちは。

来週はゴールデンウィーク・・・そしてGW明けからは学校が再開される予定です。ようやく、皆さんに会えるのを、先生も楽しみにしています！！

さて、再開前、最後の課題は戦後の日本政治の転換についてです。今につながる日本政治の基本ができあがるところを、しっかりと予習してください。

〔独立後の国内再編〕

A. 吉田・鳩山政権時代の変遷

年 月	内 閣	出 来 事
1952. 10	吉田④	10. 保安隊
1953.		3. 衆議院解散（バカヤロー解散） 4. 総選挙 8. スト規制法
5 1954.		1. 造船疑獄（佐藤栄作逮捕阻止） 3. M S A協定 5. 教育三法 6. 警察法改正・防衛庁設置法・自衛隊法
12 1955. 3		鳩山① 2. 総選挙（第1党：日本民主党） 9. 砂川事件 10. 社会党統一 鳩山② 11. 保守合同（自由民主党結成） 6. 新教育委員会法（国会乱闘） 7. 国防会議構成法 鳩山③ 12. 日ソ共同宣言・国際連合加盟
1956		

B. 第4・5次吉田茂内閣（4）：1952.10-53.5、（5）：1953.5-54.12）

ア. 政局の展開

1952-53 吉田茂 VS 鳩山一郎

( ) 制定

1952（昭和27）年5月に起きたメーデー事件（皇居前広場事件）を契機に暴力的破壊活動を行なった団体の取り締まりを規定した法令。

1953.3 バカヤロー解散（2/28 衆議院予算委員会で社会党右派西村栄一へのバカヤロー発言から内閣不信任案可決）

1953.4 総選挙→与党自由党は脅威を受ける。

1953.5 第5次吉田内閣発足

1954.1 造船疑獄：1953～54年にかけて造船融資利子補給法の国会通過・計画造船による融資割当などに関して、造船会社と政府・与党との贈収賄関係が追及される。1954.2. 自民党副官事長有田二郎逮捕以後、多数の政治家が追及され、4月幹事長（ ）逮捕請求を検察庁は行うが、内閣の方針により犬養健法相が捜査を打ち切る。

1954.6 警察法改正：国家地方警察と自治体警察を廃止し、国家警察に一本化。各都道府県に警察を設置し、（ ）が統括するというようにして中央集権化を図る。

：自治体警察廃止→警視庁を中心とした国家警察による一元化

（朝鮮戦争勃発（1950）→（ ）→（ ））

→保安隊・海上警備隊を統合、航空部隊を新設）

→（ ）（1954）

※（ ）→（ ）発足（自衛隊を管理・運営）

※（ ）→（ ）発足

1954.11 日本民主党結成（総裁：鳩山一郎）

綱領：「われわれは、民主主義の下、身をもって政界を浄化し、責任を明確にして議会政治の一新を期する」

イ. 第5次吉田内閣の倒壊

1954.12 日本民主党・社会党左派・右派による内閣不信任案

理由「吉田内閣の秘密外交・経済政策の誤謬・疑獄事件にみえる政治倫理の堕落」→第5次吉田内閣総辞職

ウ. 革新勢力の動向：講和条約等に基づく米軍基地化に伴い、米軍基地反対運動を展開。

①(　　事件) - 1952~53、石川県内灘村における米軍試射場に対する反対運動。

②(　　事件) - 1956年、東京立川米軍基地の拡張に対する砂川町民の反対運動。

③(　　闘争) - 1955年、米軍北富士演習場での住民の座り込み運動から富士山麓に点在する米軍・自衛隊基地への反対闘争へと発展。

④原水爆禁止世界大会 1955年8月

1954年に第五福龍丸がアメリカによるビキニ沖の水爆実験で被爆したことを原水爆禁止運動が急速に拡大。広島で第1回大会を開催する。

### [戦後の文化]

A. 思想・信仰・言論の抑圧からの解放

B. マスメディア

ア. 雑誌－（復活）「中央公論」「改造」・（創刊）「世界」「展望」

イ. テレビ・ラジオ放送

①NHK再開

②民間ラジオ 1952年

C. 文化事業

ア(　　) 1950（昭和25）年

法隆寺金堂壁画焼失に伴い立法。国宝その他芸能などの国家的保護を行なう。

イ. 文化勲章授与の復活

1937（昭和12）年に制定された日本文化の向上に寄与した人物に与えられる勲章の授与を復活させる。

D. 学問・文芸

ア. 人文・社会科学

①丸山真男－1914-1996、「超国家主義の論理と思想」を発表し、日本ファシズムの精神構造を分析。

②(　　) - 1907-、東大教授。『近代資本主義の系譜』を著す。

③(　　) ——1909-92、東大教授。『日本社会の家族的構成』を著す。

イ. 自然科学

①湯川秀樹——1907-81、中間子理論を発表(38)、1949年、ノーベル物理学賞受賞。

ウ. 日本学術会議創設 1949（昭和26）年

学界の代表機関として創設される。科学行政などについての研究・勧告を行なう。

E. 大衆文化

ア. 美空ひばり－1937-89、12歳で歌手としてデビュー。

イ. 溝口健二－1898-1956、映画監督。1952年「西鶴一代女」でベニス映画国際賞受賞。

ウ. 黒沢明－1910-1998、映画監督。1943年「姿三四郎」でデビューし、1950年「羅生門」でベネチア国際映画祭グランプリを受賞。80年には「影武者」がカンヌ映画祭でグランプリを受賞。

## 高2 世界史課題

宿題は順調に進んでいますか？今回の範囲が、個人的には一番面白いと思っています。アテネの政治にどんどん平民が入っていくところとか、ペルシア戦争とか、マケドニアが強くなるところとか……、想像力をフル活用して学んでください。

### ※休校明けのテストのお知らせ（再掲）

休校期間中に学習する内容については、休校明けに試験をする予定です。試験といつても、テキストやノートを見ながらするテストです。ですから、細かな言葉のひとつひとつを暗記する必要はありません。私にとっては、みなさんが学習内容をどのくらい理解しているか知るための試験、みなさんにとっては、学習内容をもう一度整理するための試験にしたいと思っています。

さて、今週の宿題です。

- ① 教科書 p.29～p.36 を読んで、「各国別世界史ノート」の p.10～p.13 の内容を学習してください。  
(ギリシア文化・ヘレニズム文化は除きますが、各國史ノートには答えを入れておいてください)  
その際には、このあとに続く「世界史Bお助けプリント」も参考にしてください。また、一般公開されている講義動画も活用してください。

#### 【講義動画の紹介】

- ・「Historia Mundi」という先生のYoutube。（「youtube ムンディー」で検索すると出てきます）  
再生リスト「【大学入試完全網羅】高校世界史世界史 20 話プロジェクト」の、010～012 が今週の内容です。
- ・栄光ゼミナールの講義動画（「栄光ゼミナール 講義動画」で検索）  
高校生用ページの一番下に世界史があります。

第2講 3 ギリシア文明(1)～(3)後半、

4 ポリスの変質とヘレニズム時代(1)(2)

が今週の内容です。

- ②次の問題の答えを、ルーズリーフ等（レポート用紙、コピー用紙なども可。ノートなど冊子状のものは不可）に記入して、休校明け最初の授業で提出してください。毎週一問ずつ、文章で答える問題を出します

問題「アレクサンドロス大王はギリシア人とペルシア人の民族の融合を目指し、ギリシア人の移住や異民族間の結婚を奨励しました。このことについて、あなたはどのように考えますか。賛成・反対の立場を明らかにし、その理由も説明してください。現代におきかえて考えても構いません。」（字数の指定・制限は特にありません）

質問は、杉田まで！電話でお問い合わせください。

# 世界史B お助けパート③

古代ギリシアに誕生した都市国家、ポリスについての  
続き。①ポリスは独立した市域と周囲の田園から構成  
されています。中心に市場(アゴラ)があり、丘(アクロポリス)の上に  
神殿が建つ。神殿は、アテネのパルテノン神殿が有名です。  
②住む人は、自由民と奴隸。

ポリスは政治的には独立していますが、ギリシアとしての  
仲間意識はあります。自分たちと「ヘレニズム」と呼ばれる  
異民族は「ペリペロイ」、つまり、現代のオリエンタル  
(東洋)が「オリエンピア」の祭典に参加していました。オリエンピアの  
祭典では、戦争をストップしていました。

ここでいうポリスの中でも大まかに存在します。  
「アゴラ」と「アテネ」について学びます。アテネは  
次のページにて。スパルタは、「スパルタ教育」について  
聞いたことがありますか? 厳しくビシバシ教えたり  
などイメージですね。その言葉の由来になります。  
二つ、スパルタというポリスです。どうぞ詳しくなさう。

①の通り、スパルタは先住民を征服して成立した  
ポリスです。先住民もそのまま暮らしています。つまり!!

スパルタのギリシア人(ドーリア人)(こと、ことは、町)の中には

貴族(先住民)だけ! なぜ隙を見せたりもたら、反乱がおきてしまうかも。

だから、スパルタの男たちは常に強くていかなければいけないのです。

スパルタの男たちは健康に育つために強制されなければいけないのです。

「命運に従事せよ」「忍耐強くあれ」「勝利に執着せよ」

イヤー、強くならざるを得ない。

スパルタ市民たちは必ず食事をといひにとて、④結力を高めるとともに、お互いを監視していって。 ... これがしてしまった...。

## check

- ① ポリスの中心部にあり、市場や集会が開かれていた場のことと云いといふか。
- ② ギリシア人は、自らをヘレニズムと呼んでいます。異民族のことは何と呼んでいますか。
- ③ ギリシア人が地中海沿岸に建設した殖民地をひとつあげよ。
- ④ スパルタで、農業について農業身分の人々を云ふといふか。
- ⑤ スパルタ市民の強さや④結力を維持するため採用されていた軍国主義的本制を何といふか。

①アゴラ ②ペリペロイ ③マ・サリス、ネアポリスなど  
④ヘイロータイ ⑤リュクルゴスの制

## 10 古代ギリシア・ヘレニズム史

### ①ポリスの構造とその住民

⑥各ポリスは独立した国家で、城壁で囲まれた市域と周囲の田園から構成

→市域の中心部の⑧アクロポリスと呼ばれる丘には神殿がおかれる。また、⑨アゴラと呼ばれる広場では市場や集会が開かれ、市民の社交の場ともなる

⑦ポリスの住民…自由人の市民とこれに隸属する奴隸から構成

i)市民…王(貴族の第一人者)・貴族(騎兵)・平民からなり、私有地である⑩ケーロス(持ち分地)を所有。市民同士の関係は平等が原則

ii)奴隸…借財で没落した市民、戦争捕虜、海外から輸入される異民族など 大事なことにについて 神様に貢献をさう。

### ④ポリスの文化

⑪ポリス間の抗争はたえなかったが、人々はギリシア人としての同胞意識を保持

→みずからを⑪ヘレニス(ヘレニズム)、その土地を⑫ヘラス(ヘルラス)と呼び、隣邦同盟や⑬ディレフオイ(神託の崇拜)、4年に一度の⑭オリエンピア(オリンピア)の祭典などで同胞意識を共有

⑮ギリシア人は異民族を⑯ペリペロイ(ペリペロイ)わけのわからないことを話すものと蔑称して区別

### ⑤ギリシア人の海外植民

⑯人口増加とともに、各ポリスは地中海・黒海沿岸に植民市を建設

→⑯マ・サリス(マルセイユ)、⑰ネアポリス(ナポリ)、⑱ビザンティオン(ビザンティン)、イスタンブル、中世では⑲コスタンティノポリス、ニカイア(現ニース)など

⑲植民市の形成でポリスの商工業が活発化。また、リティアの貨幣も流入して貨幣経済が発展

## 3 スパルタ

①成立…ドーリア人がペロボネソス半島のラコニア地方に先住民を征服して建設

### ②スパルタの構造

⑩スパルタティア…征服民を起源とする少数の完全市民で、スパルタの支配層

⑪ペリオイコイ…周辺民と呼ばれ、商工業に従事する半自由民

⑫ヘイロータイ…被征服民を起源とし、農業に従事する大多数の奴隸身分の人々

### ③スパルタの統治体制

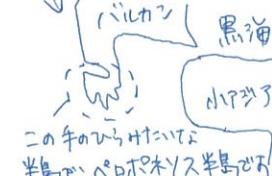
⑬2名の王による王政だが、実際の政治は長老会やエフロイと呼ばれる監督官が担う

⑭リュクルゴスの制…大多数のヘイロータイの反乱を防止するため確立された、スパルタ市民団内部の平等を徹底して結束を高める軍国主義的な体制。(3)は伝説上の立法者

→貴金属貨幣の使用禁止やクレオポトロスの公平分配で市民団の平等を徹底し、さらに外国からの影響を防ぐため、他国との自由な往来を禁止する(鎖国)政策をとる

スパルタ市民同士の争いを避けたためですね。  
仲間割れになると戻りたくないところです。

だからサキヌめっちゃ育かれてしたんだそうです。



この手の地図について  
半島がペロボネソス半島です。

アテネは、貴族が政治を独占していたことがあり、徐々に平民の政治参加が認められ、最終的には民主政になりました。今回は、その過程をみたいと/or>――!!

なぜ、政治を貴族が独占していたのか？  
それは「オーリスを守る人=政を治める人」という金失見りから  
あつたからです。豊かな貴族たちが、車などから、貴族が独占していた。でも、ほとんど小金持ちな平民が増えてて、彼らは重装歩兵として戦場に参加するところから、僕政治に参画しています。

② ドラコンの立法 これがアテネのペリコルス法(憲法)には貴族の頭の中にしかなかった(慣習法)のも、文章に記載されています。

③ ペリコルス改革 それが財産に合った政治参加、身分に合った軍事参加です。この頃、借金を返せば、奴隸にされてしまう。だから、それも禁止されています。

④ ベイシストラトスの政治は中小農民にやさしく。  
評議会が開かれています。お祭りを充実させたり。  
でも、後で余計な食事がダメダメで、やがて僧主は

アテネから追放されました。

⑤ ① クレステネスの改革 陶片追放で防止しました。

⑥ ペルシア戦争 ギリシア vs アケメネス朝ペルシア  
ペルシア支配下にあつたイオニアの反乱と、同心ギリシア人を中心とした反乱でした。「お前関係ないだろ!! 邪魔だ!!」とペルシアが怒ってギリシア vs ペルシアの戦争になってしまったのです。第1回はラッキー、しかし第2回はもう負ける気になります。東側にいるギリシアのスパルタが不参加で、アテネの男性陣は、少しも時間かせぎません。妻や子どもに逃げてもう一つとマラントにひがいました。しかし、重装歩兵の軍事法に不慣れだったペルシア軍が混亂、アテネの勝利となりました！ ヤッター！！ 第3回もテミストクレスの作戦が成功して勝利！！

お金なんか  
「オーリスを守った」とオーリの主(無産市民)が、行政権を主張!! → 市民全員(選民のみ)に直接民主政になりました。

check 答えは右端に…!!

- ① 前7世紀後半、アテネの慣習法を成文化した人は誰か。
- ② 前6世紀末、クレステネスはいめた、僧主の出現防止策を何といいますか。
- ③ イオニア植民市の中心地はどこか。
- ④ サラミスの海戦を指揮した、アテネの提督は誰か。
- ⑤ アテネが民主政を完成した前5世紀後半の、アテネの指導者は誰か。

## 4 アテネ

### ① 成立とその体制

教科書 p32~34

- ① 前8世紀頃にイオニア人がアッティカ地方に建設。当初は王政だったが、騎兵を担った貴族を中心とする政治となったのち、だいぶに民主政へ移行
- ② (アーチーク) 制度がポリスのなかでもっとも発達し、その数は総人口の3分の1を占める → 家内奴隸・農業奴隸のほか、手工業・鉱山労働(ラウレイオン銀山など)にも従事

### ② 貵族政治

- ③ (ペリコルス) (執政官、任期1年・9名)と終身制のアレオバゴス評議会が政治を掌握
- ④ ギリシア人の植民活動で商工業が活発化し、富裕な平民が武器を自弁して(重装歩兵)として軍隊の主力になると、彼らは政治的発言力を強めて貴族と対立



古代ギリシア・ヘレニズム史 II

- ⑤ 前7世紀後半、(ドラコン)が慣習法を成文化し、貴族による法知識の独占を打破

### ③ 財産政治

- ⑥ 前6世紀初め、(ソロニス) が貴族と平民の対立の調停をはかつて改革をおこなう
  - i) 所有している土地など財産の量に応じて市民を4等級にわけ、参政権を定める
  - ii) 貸貸を帳消しにし、借財で市民を奴隸とすることを禁止(債務奴隸の禁止)
- ⑦ 改革は民主政への第一歩となるが、貴族・平民の双方から非難を受けてソロニスは引退
- ⑧ 僧主政治…僧主は、民衆の支持を背景に非合法的に政権を獲得した独裁者
- ⑨ 前6世紀半ば、財産政治への不満を背景に、(ペイシストラトス) が非合法的に政権を奪って独裁体制を確立し、中小農民を保護するなど平民層の力を充実させる
- ⑩ ベイシストラトスの死後、息子のヒッピアスが暴君化して僧主政治は崩壊

### ⑤ 民主政への歩みとペルシア戦争

- ⑪ 前6世紀末、(クレステネス) が指導者となって改革をおこない、民主政治の基礎を確立

- i) 血縁による4部族制を廃止し、地縁による10部族制に再編
  - 各部族代表による500人評議会や、軍事行政単位の(テーモス) (区)を設置
  - ii) 僧主の出現防止策として、(陶片追放) の制度を創始。陶器のカケラ(陶片)に、僧主に近づく人の名前を書いて投票する。1位に100と、10年間
- ⑫ ペルシア戦争(前500～前449)
  - i) 原因…全オリエントを統一し、商業圏の拡大をねらうアケメネス朝(ペルシア)の支配に対する、アテネの支援を受けた(ミレトス)を中心とするイオニア植民市の反乱
  - ii) 経過…3回にわたる戦いのうち、最終的に前449年の和約で終結

第1回	前492年、(タレニオ) 率いるアケメネス朝軍がトラキアを制圧するが、艦隊がアトス沖で難破して撤退(アテネの不戦勝)
第2回	前490年、(マラント) の戦いでアテネ連合軍が勝利
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クセルクセス1世率いるアケメネス朝軍と、アテネ・スバルタを中心としたギリシア連合軍が激突</li> <li>・前480年、(テレモビラ) の戦いでレオニダス率いるスバルタ軍が全滅</li> <li>・同年の(サラミス) の海戦で、アテネの提督(テミストクレス) が無産市民を三段櫓船の漕ぎ手としてもいたる艦隊で、アケメネス朝艦隊に勝利</li> <li>・前479年、(プラタイア) の戦いでギリシア連合軍が勝利</li> </ul>

### ⑥ ペルシア戦争の影響と民主政の完成

#### ① ペルシア戦争の影響

- i) ギリシアでは、三段櫓船の漕ぎ手として活躍した無産市民の発言力が高まる
  - ii) 地中海の制海権がフェニキア人からギリシア人へ移る
  - iii) ペルシア戦争後、アテネを盟主とする(アテネ) 同盟(前478頃)が成立し、約200のボリスが加盟して、いわゆる集団安全保障体制を構築
- (アテネ) 島に金庫をおいたのでこの名称になったが、のちに金庫はアテネへ移管される

#### ② アテネ民主政の完成

- ① 前5世紀後半の(ペリクレス) が指導者の時代
  - i) すべての成年男性市民が参加する(アテネ) を中心とする直接民主政
  - ii) 官職・裁判陪審員の抽選制(再選不可)。将軍職のみ選舉制で再選あり
- ② アテネ民主政と現代の民主政の相違点…奴隸・女性・在留外国人に参政権がなかったこと、直接民主政のため代議制ではなかったことなど

いつかペルシアが工場で作ったときの工場は、オーリスでお金を出しはじめていた。

check カニエ

- ① ドラコン
- ② 陶片追放 (オストラシス)
- ③ ミレトス
- ④ テミストクレス
- ⑤ ペリクレス

ペリニス軍が年に用意していた。いい感じだったが、ギリシアですが、前半と後半、ペロボネソス同盟との戦争にてなっています。アテネとスパルタ中心のペロボネソス同盟の戦争。原因は、アテネがデロス同盟のお金をつかいこんでしまったらしいこと。「もうペリニス全然ないし、つかっても良い?」って、ちゃんとこんな感じか…。それはダメ!!ですわ。この戦争では、アテネに、みんなで引きこもる作戦をとりましたが、その場所で病気が(はやり)、ペリニスまで死んでしまいます。でも、無恩政(ひいふり)で貢献。その後も、スパルタ→テーベ、とギリシアの主導権がうつり、おつきません。そして混亂の隙をついて南下してますのが、マケドニアという国です。

ギリシア人の國なんだけど、田舎者あつたい。ギリシア人たちは、(アレキサンダロス)呼んでいた。国王フィリッポス2世が、カイロネイアの戦いでギリシアに勝利!(す)——と、すぐにそれでいて懐中は晴らせないことでした。しかし、彼の目的はそこにはあります。ギリシア同士の抗争を、裏でさせつけてペリニス!! アテネス朝ペリニスを倒すのが、真の目的でした。

②アレクサンドロスの夢は100人とか関係ない。その中でつくることでした。ギリシア人の先生から、「ギリシア人以外は重い物や植物と同じと見なされない」と教えられても、絶対にきらいなわけない。あ、幼い頃ね。で、夢実現のためにつくったのが、⑥アレクサンドリア市。ギリシア風の町にして、ギリシア人の移住を促しました。

アレクサンドロスの死後、あとで争いがおきて、国は(やかれて)しまいました。地図で確認しおこう!!

**check** 帰るときに右端に。

- ①スパルタを盟主とする同盟を何というか。
- ②ペリニスを失ったアテネに出現した、大競争を扇動する政治家たちをてんじゅといいます。
- ③カイロネイアの戦いでギリシア軍を破ったマケドニア王の名前は何ですか。
- ④アレクサンドロス大王に敗れたペリニスの君主は誰ですか。
- ⑤アレクサンドロス大王の死後、エジプトに成立した王朝は何ですか。

## 5 ポリスの変容とマケドニアの台頭

教科書 p34~35

### ①ペロボネソス戦争(前431~前404)

- アテネとコリントスとの紛争をきっかけに、アテネの勢力拡大を警戒する(アスコラフ)を盟主とするペロボネソス同盟が開戦して、全ギリシアを巻き込む戦争に発展
- 当初アテネが優勢だったが、戦争中に流行した疫病でペリクレスが死亡
- ペリクレスの死後、(アマゴークス)と呼ばれる扇動的な大衆政治家がアテネの指導権を握り、政治が混乱(こうした政治は(アノミ)政治と呼ばれる)マスコミの情報にふりまわされたからね。
- 最終的に、アケメネス朝の支援を受けたスパルタにアテネが敗北して終結
- 吉野山の上にしゃべり、自分で考えた方がいいんだ。

### ②アテネの衰退とテーベ(テーバイ)の台頭

- ペロボネソス戦争の敗北でアテネの勢力は衰退し、デロス同盟も消失するが、民主政は継続
- スパルタがギリシアの主導権を握ると、(テーベ)がスパルタに反発し、エバメイノンダスを指導者に前371年の(レウクリオ)の戦いで勝利して、主導権を獲得
- たえまないギリシアの戦乱のなか、土地を失って市民身分から転落するものが増加
- 市民軍にかわって(傭兵)の使用が広まり、市民の結束によるポリス社会は後退

### ③マケドニアの台頭

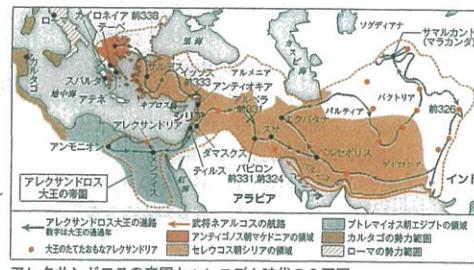
- 職業軍人のこと。(仕事として使う) ポリス守る人が政治などの原則が崩れる
- 成立…ポリスをつくらなかったドーリア系のギリシア人の一派が、ギリシアの北方に建国
- 前4世紀後半、マケドニアは(フィリッポス2世)のもとで軍事力を強め、衰退したギリシアに勢力を拡大
- 前338年、フィリッポス2世の率いるマケドニア軍が(カイロネイア)の戦いでアテネ・テーベの連合軍を破る
- 彼は(コリストス)同盟を成立させて、スパルタを除く全ギリシアを支配下におく

## 6 アレクサンドロスの帝国とヘレニズム世界

教科書 p35~36

### ①アレクサンドロス大王の東方遠征

- フィリッポス2世が暗殺されたのち、マケドニア王に(アレクサンドロス)大王が即位
- 前334年、大王はアケメネス朝征討のためにマケドニア・ギリシア軍を率いて東方遠征を開始
  - 前333年の(アレクサンドロス)の戦いや、前331年の(アレクサンドロス)の戦いでペルシア王(ダレイオス3世)を破り、前330年にアケメネス朝ペルシアを滅ぼす
- ②アレクサンドロスの帝国 単純にまきこぼすよりも、
- アレクサンドロス大王は、アケメネス朝を滅ぼした後もさらにインド西北部まで進軍し、10年あまりでギリシア・エジプトからインダス川流域にいたる大帝国を建設
- 遠征の途上、各地の拠点として約70におよぶ(アレクサンドロス)市を建設
  - エジプトの(アレクサンドロス)市は、ヘレニズム世界の政治・経済の中核となる
- 大王は、ギリシア人の移住や将兵のペルシア人と結婚を奨励し、ペルシア人を積極的に登用して東西の融合につとめる



マケドニア男性1万人とペリニス女性1万人の合同結婚式をしたらしい。

方、東方の専制君主政の導入をこころみる

→前324年、アレクサンドロス大王は(ペセロス)に凱旋したが、翌年に熱病で急死

王位は30歳

### ③ヘレニズム時代の3王国

- アレクサンドロス大王の死後、(アレクサンドロス)の後継者による領土をめぐる戦争が勃発し、アレクサンドロスの帝国は分裂
- (アレクサンドロス)朝エジプト(前304~前30)…首都をアレクサンドリアにおき、エジプト地方を支配。アレクサンドリアはヘレニズム世界の経済・文化の中心として繁栄
- (アレクサンドロス)朝シリア(前312~前64)…首都をアンティオキアにおき、中央アジア~小アジアを支配。前3世紀にその領域からパクトラとパルティアが独立
- (アレクサンドロス)朝マケドニア(前276~前168)…首都をペラにおき、マケドニア・ギリシア地方を支配
- (アレクサンドロス)時代…大王の東方遠征からブトレマイオス朝の滅亡までの約300年間



- ①ペロボネソス同盟
- ②アマゴークス(アマゴークス)
- ③フィリッポス2世
- ④ダレイオス3世
- ⑤ブトレマイオス朝